滿州日報

○報價目

每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增

○告白刊例

一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

粟市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
粟市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙 一仝
一連紙 一連
一フールスカツプ 全
一中判洋紙 全 百枚
一半紙野紙 四十枚綴
一巻紙

一椅子
一卓子
一卓子掛
一廚房用戸棚

一綿毛布 一枚モノ
一長火鉢 四圓以上六圓五十錢
一箱火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一宣德火鉢 一對 二圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料 一ケ月以內 每十五個乃至十… 長期連褐減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

千代田丸 二十一日 門司行
營口丸 廿四日 仝

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

瀛船出帆廣告

日勝丸 廿二日 門司、橫濱行
鎭海丸 廿三日 門司、橫濱行
萬成源丸 龍口定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部 (電話五二番)

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元

松茂洋行商品部 (電話五二番)

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告

盛航丸 廿四日 門司橫濱行

代理店 ブウレユ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行 (電話二十三番)

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布疋花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋燭火柴罐頭等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙客許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺誠懇有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳偉可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同成德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜並置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

本號油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣糧貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚邇通知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南響乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

保險運送各剤火輪船生意兼賣各剤洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北響乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許紋運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街 東櫃(電話九十五番) 西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯違) 櫻花牌(掠利) 百合花牌(利利)均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(陸沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元探買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 頼朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全与有滿國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行(電話五十二番)

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商爵顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡盥婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等雜物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也

營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

周 鐵道遼河裕和盛運輸局

(電話八十一號)

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟類代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局之需 國本主人啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特佈週知

東櫃開設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨滓兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

工 飯塚工程局材料部

營口元神廟前 (電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候

關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街(電話一八番) 牛家屯停車場構內(電話四六番)

廣告

大阪鐵田組支店開設

今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候

假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任 鐵田米吉

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頼朝丸、摩耶山丸、第二播海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戶、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

東京電報

●**外相親任式**　駐英大使林子爵外務大臣に任ぜられ本日午後親任式を宮中に行はせられたり　（五月十九日發電）

倫敦電報

●**八十名倶樂部の饗應**　八十名倶樂部は當時英國巡遊中の獨逸の市會議員を饗應せりトヰードマウス卿及チャーチル氏は熱心なる歡迎演説をなしチャーチル氏は英國人は偉大なる獨逸人に對して眞の愛情を抱けりと言ひ獨逸帝を忠實なる平和の保護者と呼びたり

●**勞働議案の否決**　英國上院は下院に於て討議を爲さすして議決せる勞働議案（同盟罷工者に代るために外國勞働者が英國に入ることを禁止する議案）を否決せり此爲めに勞働派議員は非常に憤り國家に對し此の如く無責任なる議院の存立を何の日迄忍はさるへからさるかと下院に於て痛論せり　（以上五月十八日發電）

●**水雷艇隊の顛覆**　水雷艇第五十六號ポートサイドに於て顛覆し乘組員七名溺死せり

●**守舊主義の演説**　ド、キヲテは强硬なる守舊主義の演説をなし若し大赦令を發せば文明國全体が驚く程の革命を引き起すへしと警告せり

●**獨乙各市長の拜謁**　バツキンガム宮殿に於て獨逸の各市長の一行に拜謁を賜ひロンドン市長は市役所に於て歡迎會を開けり獨逸帝は右の歡迎に付き謝辭を電送せり

●**獨乙市長等の同情**　獨逸市長等はサンフランシスコ災厄に就て大に同情を寄す

●**パナマ運河と上院**　米國上院に於てパナマ運河は海面と水平にするを可とする意見を呈出せり

●**海峽艦隊の巡航**　デーリーテレグラフ新聞曰く海峽艦体は七月末にコロンスタツトへ巡航すへし

●**英露協約の進捗**　スタンダード新聞曰く英露協約は重もに土耳其とペルシヤ、アフガニスタン及西藏に關し着々進捗して露國が憲法に依りて政治を行なふ頃に協約は完結すべし　（以上五月十九日發電）

●**鐵道賃銀法案の可決**　米國上院は多少の修正を以て鐵道賃銀法案を可決せり此修正の中には各州商業委員會の決議事項を更に法衙（裁判所）に於て認定することに改めたることあり此件に對してはルーズベルトが永く反對せり此議案は上下兩院の協議會の會議に附せらるへし　（五月二十日發電）

雜報

●**外交界の新生面**　林駐英大使巳に專任外相として内閣に入り内田駐清公使亦遠からす入つて外務次官の椅子に就くへく之を外にしては旣に蘭國公使ラウドン露國公使バタメチエフ兩氏相繼いて至り本月に入りては獨國大使ムンム男米國大使ライト氏相前後して來任せるあり加ふるに西園寺首相以下亦外より歸りて滿洲經營の方針も茲に確立し其施設企畫實現の期に入るを以て歐州各國の視線は翕然として滿洲の一角に集注すへし然れは今後外交の中心は必然東京に移り我か東京の外交界は並に新生面を開き來り遠からす活潑潑地の觀を呈すへしと某外交通は語れり

●**建造中の軍艦**　帝國海軍の戰時計畫に屬する建造中の軍艦左の如し

名稱	艦種	噸數	建造地	進水期
安藝	戰鬪艦	一九〇〇〇以上	呉	來年中
薩摩	戰鬪艦	一九〇〇〇以上	横須賀	本年十月頃
筑波（姉妹艦）	裝甲一等巡洋艦	一三七五〇	呉	艤装中
生駒（姉妹艦）	裝甲一等巡洋艦	一三七五〇	呉	艤装中
鞍馬（姉妹艦）	裝甲一等巡洋艦	一四〇〇〇餘	横須賀	本年八月頃
伊吹（姉妹艦）	裝甲一等巡洋艦	一四〇〇〇餘	呉	來年夏頃
最上（姉妹艦）	通報艦	二三〇〇餘	長崎三菱造船所	本年七月頃
利根（姉妹艦）	通報艦	二三〇〇餘	佐世保	本年秋頃
淀	通報艦	二五〇〇餘	神戸川崎造船所	本年七月頃

（備考）右は帝國海軍の戰時計畫に屬する製艦にして川崎、三菱兩私設造船所に於て製造の驅逐艦は之を除外せり以上の外來る八月英國より回航する鹿島香取兩艦を合すれば約十五萬噸の勢力に達すへし

●**郵便生命保險**　我國民の勤儉貯蓄奬勵に關しては其方法一にして足らすと雖も全國に普及せる郵便機關を利用して郵便生命保險の制度を實施し英佛其他の例に倣ひ最も簡易なる方法を以てせは啻に貯蓄思想の涵養に利するのみならす外資輸入等に由り放散せられたる零砕なる資金を回收し通貨の膨脹を防ぎ物質の騰貴を抑制するの効果なしと云ふへからす或は一種生命保險の官業を以て民業の發達を阻碍するものなりと云ふものあらんも政府か率先して郵便貯金制度を設け其發達の結果か民間貯蓄銀行の好成績を擧けつゝあるに徴すれは民業阻碍論の採るに足らさるは明かなりとて同制度實施の議論殊に遞信部内に熾なりと

●**震災後の桑港**　桑港震災の爲め燒失したる地所は四平方里餘にして四月二十八日來三電車丈は開通し電燈も四分の三丈け點火するを得るに至り商家は一般にオークランド方面に假事務所を轉置し銀行は桑港市内に止まり水道は數日間に恢復せらるゝ筈なるも市中には危險の徒徘徊するを以て午後九時以後の外出者は外出券を有せさるへからす去れと人心は一般に平穩にして健康狀態を憂ふへき處なしと云ふ

●**大沽沖浚渫問題**　大沽沖浚渫問題は久しく決せさりしか各國委員度々會議の末四十五萬兩の費用にて浚渫に決し公債に依り二十萬は英租界にて引受け殘額は公共より募集し償却は出入船舶噸税を增して之に充つる事とし右決議を天津領事團より公使團に送附し來りたるに依り此程公使會議を開きしも利害薄き二三國か本國政府の訓令を受くるの要ありと稱し議纏らずして散會せりといふ

●**南樺太の内外人**　帝國か領有前南樺太に於ける露人の數は約四千五百人位なりしか其内本國へ歸去せる者其他を除き現在居殘れるは五百人なり是等は悉く重刑囚にして多分は本國へ歸るへく其中には猶太人あり韓人あり又土耳其人あり孰も犯罪ありて露政府より流されたるものなり本邦人の越年せるは千九百八十九人にして内婦人三百五十六人なりコルサコフに家屋を新築したるもの三百戸其他は露人の殘せる家屋に住みて冱寒を凌ぎたるものなるか健康狀態頗る良好なりしと

●**新巡洋艦艤装**　嚢に呉海軍工廠にて進水したる一等裝甲巡洋艦筑波同生駒の二隻は孰れも進水終了後直に艤装工事に着手し筑波は既に大半艤装を了り本年中には悉皆竣工の豫定なるが生駒は來年三四月頃には艤装を了るべしと

●**ゴリーキの來遊説**　本邦在留露人某氏か目下紐育に在る露國文豪マキシムゴリキーより受けたる書面に依れはゴリキーは彼の女優ニアンドロワ孃と不日日本に來遊するの意ありと

●**卅八年度ジャンク貿易（下）**（營口鈔關報告の概要）

第七、清國諸港へ輸出の清國製品　本項に屬する本年度貿易總額は百七十七万七千二百卅兩にして前々年度に比し約五割の減少也當港輸出品の大宗たる豆、豆粕は滿洲内地に産し重にジャンクにより遼河を下航し當港に集積するものなるを以て（新民屯より關外鐵道によりて又陸路馬車にて輸入の道あれとも其量甚た少し）交戰區域の擴張と共に之れ等ジャンクの大部分は交戰國に徴用せらるゝに至りし以來は之か輸送の途甚たしき障害を受け之れ等の物貨を積載して下航するジャンク例年に比し著しき減少を來せり本年度後半期に至て此狀態は漸く恢復したれとも到底平年の狀態に及はさりき之れか爲めに輸出貿易の蒙りたる影響は單にジャンクのみならす汽船に於て一層著しかりき

第八、外國港へ外國製品の再輸出　無し

第九、清國諸港へ外國製品の再輸出　清國諸港へ再輸出せられたる外國製品の總額は四萬一千六百二十一兩にして前年に比し九萬五千百六十五兩の減少なれとも前々年度に比すれは尙は一倍の增加を示せり

第十、阿片　當港に輸入せらるゝ阿片の産地は重に滿洲北部なるを以て開戰以來之れか輸送上苦しき障害を受け其額例年に比し著しく減少せり

本年度中當關に屆出てたる總量は十二萬七千〇六十三斤にして前年に比し約一割二分前々年に比し三割五分の減額なり

第十一、雜報

本年度には稅率徴税手續を改正したるものなし九月四日より十一月二十三日即ち結氷期まで田庄臺釐金局の委任を受け上流より下航する貨物に對し釐金を徴收せり其率從價千分の八委任期間徴收せし釐金合計　萬八千二百九十一兩〇八分六厘にして十日毎に一括して釐金局に送附し本關に於ては何等の手數料又は徴收費をも徴せさりき

本年十月當港に「ペスト」患者發生し一時蔓延の兆ありて當港の貿易は之れか爲めに大打撃を受くるに至らんかと憂慮するものありしか幸にして我か當局者の所置其宜しきを得て容易に之れを撲滅し何等の影響をも蒙らさりき

以下諸表中の民船とあるはジャンクと知るへし

明治三十九年二月　大日本營口鈔關

●**遼陽貸下家屋還付の大恐慌**　綠城生

▲前日來の風評　城外なる西門外北門外並に西關一体に在住する本邦人家屋の大部は貸下家屋に屬し其の貸下條件として何時にても官府の必要に伴ひ立退かさるへからさる運命を有するものなるか前日來より甲傳へ乙告げ貸下家屋の一部は早晩引揚げらるへき風評荐りに喧傳し貸下家屋在住者の邦人間に一大恐慌を惹起しつゝある次第は既報の如し

▲霹靂一聲立退の命令　果せるかな霹靂一聲其の筋の命令は疾風迅雷も啻ならす遂は事實となり城外に於ける最も樞要の地區と目されたる喇嘛塔附近より北門外に至る二十四戸は本月末を期し還付すべき悲痛なる運命に遭遇せり

▲邦人經營の一頓挫　斯るは畢竟官府の必要上此に出でたるものにして實に止むを得ざる事に屬すと雖も還付者の心事又一片の同情なきを得ず彼等は取りも直さず大鐵槌を被りたる致命傷者に比すへく其の大打撃は容易に回復し能はさる而已か延さて現下遼陽に於ける邦人經營の發展に一頓挫を來たせるものと謂ふべし

▲打撃の痛大なる所以　貸下家屋たるや當初多くは滿足のものなく半ば崩壞頽殆と用を爲さゝるより修築加工を經て始めて居住し營業せるなり然るに還付を命せられたる二十四戸の内多くは料理業者旅館業者等の如き所謂家屋を本位とせる者なるを以て得たる利潤は悉く家屋の修築營業の設備に傾注放資するの狀態にあれば家屋を除きて何資あるなく若し少數の餘力者ありとするも今後の挽回は蓋し至難の事に屬す

▲家屋加工費の概算　今試に主なる還付家屋に對する加工費を列擧すれば遼東ホテル九千圓餘大陽館五千二十五圓塔陽軒二千四百九十九圓いろは二千百三十四圓塔下園千五百十圓餘其他小なるもの尙數百圓を下らす通して約三万數千圓の加工費を投入したりといへば其額は要するに二十四戸の財産なりと言ふべく想ふて茲に到れば還付者の苦痛は蓋し思ひ半ばに過る者あらん

▲其善後策の講究　之を要するに今回還付すべき二十四戸は在住邦人總戸數の四分一弱にして之を口數よりせば四分一强に相當するを以て此等の進退去就は直接間接在遼陽本邦人の發展に至大の關係を有するを以て一般在留邦人亦之を以て對岸の火災視する能はすと爲し昨今善後策に就き奔走し尙日本人會評議員は協議を凝らし居るの狀態なるが結局其の筋に向つて延期を嘆願哀訴するに至るへきか

●**日本人會の運命**　既報の如く去十九日領事館内にて評議員會を開催せり會する者十四名にして通般は近來になき盛會なりしと云ふ今其模樣を聞くに瀨川會長同會運命に就て大に議する所ありたる結果甲は解散說を唱へ乙は維持論を吐き丙は會名のみを持續して事務員を廢し經費を節減すへしなど甲論乙駁議論非常に沸騰し結局來る廿六日を期し一般在留邦人の大會を催し可否を決する事として散會せりと云ふ

●**遼陽の出火**（負傷者二名）　遼陽來電に據れば一昨二十日午前十時遼陽西門外なる料理業氣樂亭より出火風勢左して甚しからさりしも速に消し止むるに遑無く遂に同家を全燒せり原因不明負傷者二名を生じたり

●**赤城艦の入出港**　二十一日を以て入港すべく記せる砲艦赤城艦は豫定の期日を變更し突然去る十九日午後入港し羽咋艦長及び乘組員の重もなる人々は直に上陸し軍政署及び領事館を訪問し翌日は軍政官及び領事の答訪あり午後艦長は再び上陸領事と同道市中を見物し夜は艦長以下乘組員の重もなる者は領事の晩餐請待會に臨席せり同日は日曜日といひ殊に近來の好天氣なりしを以て水兵の上陸散策する者多く市中時ならぬ景氣を添へたり同艦は尙暫く碇泊すべき豫定の所遽に日取を早め昨廿一日午後二時出港旅順へ還航せり何れ一ケ月後再び來港一週間許碇泊すべき筈なりといふ

●**軍政官及領事の訪問**　當軍政官與倉中佐は一昨日羽咋赤城艦長を同艦に訪問せるが瀨川領事及び高橋領事官補亦前後して同艦を訪問せり

●**温故會**　今度臺灣日々新聞主筆木下新三郎氏の來營を機として本日午後七時臺灣温故會を日本館に開く由

●**木下新三郎氏の來營**　臺灣日々新報主筆木下新三郎氏は今回清韓旅行の目的を以て昨朝午前大連より來營直に金城ホテルに投宿せるが明日出發關内外鐵道に由り北京に觀光し長江沿岸をも視察する筈なりといふ

●**在留民の觀覽**　我營口在留民中一昨及び昨日に渡り觀覽の爲め赤城艦に趣ける者非常に多く爲に海岸は非常に雜踏を極めたり

夏物商況

昨夏の營口は尙渾沌の狀態に在り各商店は只軍需品の供給に忙殺せられ從つて數多の夏物を取揃へたる店舖とてはあらざりしに鑑つて今夏の營口を觀るに各種帽子、男女洋傘、シャツ類、洋服附屬品、吳服類等に至る迄一として揃はざる莫く一般の商況も亦宜しき方にてベスト以來連叫せる不景氣の聲は漸次沒却せられんとす殊に二三有力なる雜貨店の對支那人商業に重きを措き來れるが如きは時世の趨潮に適したる善良の着目と言ふべく此後の活動刮目して見るべきものあらん

今夏物新着品にして最も賣行き多き品に就き盛進商行にて取調べしもの左の如し

▲帽子類、防水セル地、綾絹地、ヘルメット　自二圓八十錢至三圓五十錢
六菱一文字、ネコイ一文字　自一圓至三圓
ヘンチング　自五十錢至二圓
▲婦人絹傘　自四圓至七圓五十錢
▲縮服下シャツ袴下　自一圓至一圓七十錢
▲メリヤスシャツ袴　自七十錢至三圓
▲縮安物シャツ、袴下、一打に付自六圓至八圓
▲縞、白服下シャツ　自二圓至三圓
▲網シャツ　自三圓至九圓
▲花莚四十ヤール物　十五圓
▲カーテンレース、一ヤール　六十錢

殊に同店は戰爭中より他の商店とは僅に二三割方安價に販賣せる由にて既に第一回着荷の分は大半賣盡くし第二回着荷を待ちつゝありと云ふ

投書かご

▲近頃元神廟街の新店のチャンイとかは二本町の駒助とかいふ大古狸に迷心して日夜御通勤なさるさうな近來の景氣者と見える一体何者の事でせうか（探偵生）▲ブッシュさん是迄君の所に居た日本人は皆ポコペンだ此頃の日本人さんは大變篤實で人扱ひが叮嚀で人氣が美いこれで君の今迄の面目を恢復することが出來るでせう（ヘイガラ生）▲投書かで記者足下記者は何が故に醉月の貴社燒打の後難をも敢て肯んじて而して〇〇の件に關しては吾輩の徹宵頭を惱ましたる投書を沒に爲したるや此現象に依て見れば時に猜疑の念の發せざらんとするも押ゆる能はず借問す足下は彼女の名譽を重んじてか將た何等かの關係にても有するや吾輩は燒打如の兒戯は誓つてせぬが今年は丙午の祟り年だから落雷を天に呼び起して聊か貴紙に報いんとす貴社の屋上避雷針の用意を怠る勿れ

●**せんきゅうに就て**　凋落生なる人あり其平生愛撫の盆松將に枯れなんとし驚き書を投書籠に寄せ其醫治法を問ふ我工場中物知顔生なる者あり生來園藝上の嗜好を有し頗る經驗に富む乃ち答ふるに「せんきゅう」なる藥草の能く其枯死を防ぐに足るを以てす凋落生洽く埠中の藥舖に索めて遂に得す更に問ふに其漢名と形狀とを以てす物知顔生素より之を多年の實驗中に得たる者復た漢名の如何を知るに由無し編輯の世話好男因て遍く有ゆる字書を捜索して漸く其解說を得たり曰く「川芎本名芎藭なり蜀の川州の産を上品とすれ此に特に名とす古名「女かづら」高さ一二尺葉は夏の芹葉に似て枝多し莖葉共に淺緑色にして香氣多し秋月花實あり根を藥とし葉をも蘼蕪といひて藥用とす」と蓋し凋落生が床かしき風流のすさびを多として斯くはおせつかいに及びたる所以也

火車時刻

關内外鐵道
上り　營口發前八、三〇　七、〇〇／溝幇子同九、四五　九、〇〇／錦州同后三、四五　二、〇〇／山海關着六、〇〇　八、一〇／山海關發前八、一五　五、〇〇／唐沽同后三、三〇　四、一〇
下り　山海關發前七、〇五　四、四五／錦州同后三、三五　二、〇五／溝幇子同二、四五　四、四〇／營口着四、三五　七、五一／北京發前八、〇〇／天津同一一、〇九　六、二五

新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、一七／溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、一七

東清鐵道
上り　營口發前六、三〇　后九、三五／大石橋着同七、三〇　一〇、三〇／大石橋發前八、〇五　后一一、〇五
下り　大石橋發前八、二五　后二、二五／營口着同九、一〇　三、一〇／大石橋發前七、〇五　后一〇、〇五

諸鐵工製作
鐵山船機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料
營口レンガ定商會門前
川喜鐵工場

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ
營口二本町　**梅廼家**　田村瀧太

西海洋服店
歐米各國最新流行形
（電話百二十七）

天氣豫報

營口地方天氣豫報
自二十一日午後六時至二十二日午後六時
南之風晴れ

小說

新作小說　おとし胤　德田秋聲

（六十二）

庭の設備を見廻ツて歩くうちにも、海鹿子爵の心の大部分は、菊花壇に引付けられてゐた。歡馬はまた、摸擬店とか、餘興の演奏場とか、休憩場とか、または椅子の配り、旗、挑燈の釣方などに注意して、行届くだけ行届くやうに勉めてゐた。彼は、平常の書生振と違ツて、今日はシルクハツトにフロツクコート、洒落なる風流才子となツてゐたのであツた。鳥渡手透になツたので、彼は、菊花壇に近いところで、椅子に腰を掛け、何んといふ事は無く、微風に飜る萬國々旗を眺めながら、ポケツトから葉卷煙草を取出し、マツチを擦ツて、さも渴れたやうに深く一と吸。パツと、煙を吐くと、閃くやうに足下に映る人影。ふと見ると、兄子爵が微笑を含みながら立ツてゐる。

「何うかな、準備はスツカリ整ツたかな。」

「はい、大概可い積です。」

「椅子の方は何うした、向刻足りるとか足りないとかいふ話があツたが…………揃ツたかな。

不足の無いやうにしといて呉れ。」

「大丈夫でせう。那からまた、八十ばかり取寄せて、都合三百三四十あるですから。」

「餘興の方は何うぢや、順序が立ツて居るか。藝人の來る時間なぞも確かな。」

「それは何んです、合田が嚴重に行ツて居るですから、故障は無からうと思ひます。」

「然うか、食堂の方は何うぢやらう。何うか、今日のコツクの腕前は…………後から笑はれるのは心外ぢやからな。」

「然うですな、永年グランドホテルで仕上げて來た腕前ださうですから、ま、餘り馬鹿な事も爲ないでせう。」

「一ツ大に腕を振ツて、ハイカラ党を堪能させて呉れると可いの。」と海鹿子爵の癖で、何うかすると細いところまで氣が届く。ふと默ツて今更のやうに彼方此方と見廻してゐたが、「歡馬。」と改めて呼掛け「お前な、御苦勞ぢやが、今日一ツ、俺に代ツて、光の介添になツて呉れんか。能く注意をして置いたが、何分の、那ぢや。人の中へといふは出たことが無いのぢやから、見苦しい失態でも行られては、大に躰面に關はるといふもんぢやからの、一体は夫人が爲べきであるのぢやが、那の通ぢやで、お話にならん…………ぢやから、面倒でも能う頼むぞ。」

「いや、それは何んです、輝子さんが、責任を帶びて引受けることになツてゐるですから、御心配には及びますまい。」

「輝子とは？…………あ、何か。家庭教師か。」

「然うです、輝子さんに頼むで置けば間違は無いと思ひます、那の人なら、一家の事情、光さんの境遇も略知ツてゐますし、殊に非常に光さんに同情を寄せてゐるのですから、那の人に委せて置いたら差支が無いでせう、尙私も出來るだけ注意をしますが。」

「然うか。成程那の輝子といふ人はなか〳〵しツかりしてゐるやうだが…………光に取ツては、實に好い教師だが、併し今日の介添は何うか。果して務るかの。餘程場馴れて居らんでは、光と一所に失態を行りはしないかと思ふが。」

「其樣な事はありますまい。割合に高い階級の交際に馴れてゐるやうですから。」

「大分、信任が厚いやうだの。」と海鹿子爵は、薄笑。「兎に角輝子さんでも可いから、尙能くお前から頼むで置いて呉れ。夫人も、阿母樣も、何うで今日は顏出しもせまいからの…………設また出たところで、光を回護ふ人等ぢやない。」

「然うですな、實に困ツた人等です、嫂樣は兎もあれ、阿母樣が…………實は昨夜も、懇々說いて見たのですけれども、所謂馬の耳に念佛といふものですな。其の頑迷といふものは驚くべきものです強ツていふと。私は、園遊會といふものが嫌！…………此うなんです。貴方が無いですな。實に度し難い人といふものなんですから。」

「いや、捨て置け、捨て置け。」と海鹿子爵は、忌はしげに眉を顰めて、「夫人にしろ、阿母樣にしろ、海鹿の家に取ツては叛逆人ぢや。俺の敵に同情を求めやうといふのが間違ツてゐる。」と謂ツて、ふと家の方を見ると、誰か知らぬが、廊下に、袴羽織の縉紳が立ツてゐて、合田が頻にぴよこ〳〵お辭儀をしてゐる。來賓の影は、既う此の邸内に見えたのである。

●友人の手紙　醉雨子

予等同窓相會して角笛會てふを設け、毎月五回、學校、寺、微笑庵、櫻醜庵、草廼舍に俳句研究會を催して居つた、同窓とは微笑、破瓢、櫻醜、昏村、泉岩、喃々、塞葉、一歩、六友等である予は召集令狀が來たので、一夜、學校に送別俳句會を催され、餘興として塞葉子が得意の吟聲に昏村子の劍舞、其他各自の隱藝が出た、滿座抱腹の有樣であつた、午後十二時散會した、翌午前四時役場の相圖の號砲が鳴た、隣家へ暇乞も早々駈け付いた、應召者十三名、學生五百名、其の他有志者、婦人會、消防夫等が歡迎準備がしかと出來て居る、予は特に角笛會員に迄歡送されるのだ停車場迄四里ある處を至つて近い樣な氣がして着いた、滊車は發車に間がない、名殘りが盡きぬから、先つ乘車して窓から首を出して居た

泉岩氏は窓近く進んで來て予が手を握つて勇しく勤務をして…………と言つて後は聲なく俯つ向ひて尙も手を固く〳〵握つて離さぬのであつた、予も何んだか涙が出そうになつて來た、發車用意の笛が鳴る、氏は漸く茲に手を離した、瀛笛一聲、列車は進行を始めた、萬歳の聲が起る、帽子を振るもの、ハンカチーフを振るもの構内は恰も盜る丶如くであつた、此れが氏等と今顔を見ぬ別れとなつて居る、氏は今に彼の時は君と生別となるか、又死別となるか自分が非常に打胸されてあつたと手紙に書いて送くつて呉れるのである

●若子の作戰計畫

二〇三高地式に白粉三インチも塗りたるところは如何にも自惚れらしく見えても念入りに御面相を拜見すれば嘔吐を催すべき思ひをするは第一樓の若子なりと云へば三面子が振られた怨みの毒口のやうなれど決して左にあらず此に營口は某所にお勤め遊ばす八字髯鼻下長三郎と云ふ大盡ありけり一度び第一樓に通ひ初めしが病附きにて年も二十七ふ姥櫻に蓼喰ふ蟲も好き〳〵とやら若子の御面相何處かに好いところありと見ゑ窈に心を寄せてより又しても押さへがたき若き心の二度三度と通ひ居るとは芽出たし話替つて若子は勤めてそすれこの妓には今世は愚か二世も三世もと深く契りし法被一枚に江戸腹掛と云ふ哥兄さんがチヤンと後に控へて萬事の策戰計畫を廻らし只管黃金吸收策を講じて居る事とも知らぬが佛の長三郎若子が口から出まかせの物語に蕩翁となり海鼠となり近頃にては天晴營口切つて色男の標本は乃公で誤座るテナ自惚方に今にヤイコリヤの發聲で尻をまくつて長三郎殿がお宅に乘り込むべき手筈なりとは芝居にありさうな話なり

●河原女史の結婚談

久しく郷里に歸り居りし同女史は又も此頃上京して下田歌子女史方に寓しつゝあり之れは福島少將の媒人にて結婚する爲めなりとなど云ひ囃す物數奇者もあれど實際は然ることなき由にて嘗て彼の志士として國事に殉したる沖貞介氏の如きは痛たく女史に眷戀し是非共女史を貰ひ受けたしと世話方を友人に頼み歸り來りて結婚すべきを理想として喜び勇んで横川氏と共に敵地に深入せし程なりしが其外にも當時蒙古にて女史の世話になりし軍人にて今回凱旋せし者の中にても結婚を申込むもの尠なからすとのことなれど一人として女史の握手を得たりと云ふ話のなきはどうしたものにやと聞けば同女史は家庭の都合上嫁に行く事も出來す夫れとて聟を迎へるも厭と云ふ事情ある爲に當分は結婚等のこともなく多分は又もや何處かに赴任することとなるへしと云ふ噂なり

春雜吟　鍼葉

暖き門に干しけり土人形
新兵の敎練廣野暖に
板に貼る絣の衣や暖に
暖や甃生褌を洗ひ干す
暖や鼠の騷ぐ下水道
庵問へば畑打ち給ふ暖に
酒飲て羽織を脱くや暖に
暖や遼河濁りて流れけり
暖やアンペラ敷て虱狩り
日や永き展覽幾度慰問品
白紙一帖習ひ盡して日永かな
鉛筆にすますます日永の旅日記

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

●●●●●●●●

一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

廣告

弊館來六月四日より向十五日間祝開業一週年左の方法を以て美人投票仕候容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者と定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械コタツク　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半
七等　八ツ切三圓半　八等　カビネ二圓半
九等　紀念帖一圓半　十等　繪はかき三打

等級は最高點者を一等とし以下是に準じます右の内一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版とし廣く滿洲日報購讀者へ配付し名譽を世界に發表します
以上の方法を以て美人投票仕度候間御賛成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應し（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します一時に多數御入用の方は便宜上弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します右撮影券は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて六ケ月間有効です体裁等も頗る高尙なれば進物用にも適し至極重寶です
投票の場所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近、三船寫眞館路地の三ケ所に備てありますから隨意に御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合事務所員の立合を請ひ開札し毎日滿洲日報に掲載します

月　日　營口元神廟街　三船寫眞館

廣告
今般代々木商會ヲ辭ス
津田壽一

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン　其外和洋酒類
營口永世街第廿八號
大原洋行
（營口無比廉價販賣す）

今有賓州廳之東老營口街永增膐郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

溫故會開會廣告
今回臺灣日々新報主筆木下新三郎君清韓視察の爲來營せられたるを好機とし會員諸君の臨時溫故會を開き候に付御參會を望む
一會場　日本館
一會費　金四圓
一時間　廿二日午後七時
追て來否は本日午後五時頃迄に日本館まで御一報を乞ふ
發起人

夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
彙辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路所要各站分局現方在設備中倘蒙遠運貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

第二回新荷着

金舛洋行
盛進商行

小戀　來原慶助君著
對譯清語活法　全
附錄　支那時文速知
イロハ索引附
袖珍用旭皮表紙頗る美釘紙數三百餘頁
（定價金五十錢　郵税金六錢）
此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黑木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは已に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらる、の同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを
發行處　東京市神田區裏神保町一番地　三省堂書店

御料理
板場新來丁料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ雪月花ノ會席打テ一團ノト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモゲス
グンゲン
ビヨガイ
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ますまつのや藝妓
まつのや
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　小牛荘
御客樣方

千客万来
花々奴　丸

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青坍子
加州組
（電話八十六番）

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東淸鐵道
遼河貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
内外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
毎月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

發賣　材木　煉瓦　木炭
鹽川商會
遼陽小西門内
鹽川商會
淸國營口二本町二五五號
主任　鹽川峯吉
（電話一三六番）
●建築用材北海道産松大角（自二十尺至三十尺）八千本
外に電柱用材杉丸太長（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月日
翁亭

萬事勉強乘車乘船好位置
旅館　營口中央市場前
東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話弐七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

瀛船出入港案内
日勝丸　廿三日午後出帆門司横濱行
盛航丸　廿六日出帆門司直行
能登丸廿日午正出帆門司直行神戸行
御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
大阪商船會社荷客取扱所　船舶代理仕貨借仲立輸出入税關手續
解船人夫運搬請負　諸品委托賣買　水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　德重洋行

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
代て事務を扱ふ
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

一、税關手續
一、船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場計時北店三ノ二階樓
宮原公司

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

競爭入札廣告中訂正
五月十日附廣告の重燒麵麭二万四千箱を一万九千箱と訂正す
明治三十九年五月十六日
滿洲軍倉庫
遼陽支庫殘務取扱所

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

新荷着
銘酒劍菱

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向ヒ
池上出張店

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

宮門抄

二十二日
商部　鑾儀衞　兩黃旗值日無引見　瞿中堂等同鄉官謝恩
健能訓謝賞二品銜　恩　新授道府曾廣銓謝　恩　張建勳等
謝授署提學使　恩　薩廉由西陵回京請　安並謝　恩　福陵
總管德蔭謝　恩　連壁富基伺候　召見　崇壽續假五日
召見軍機　連壁　富基　德蔭
皇太后　皇上明日辦事後至　頤和園駐蹕
商部　學部　王步瀛　練兵處遞封奏各二件

上諭恭錄

二十二日奉
上諭湖南岳常澧道員缺着石廷棟補授欽此
上諭江南提督着劉光才調補徐印川着補授貴州提督欽此
上諭貴州古州鎮總兵員缺着陳萬清補授欽此

論說

謹求農學以敦邦本論

國以農爲本。民以食爲天。此考生常談。凡人無不知之。顧知其重而或輕之。知其急而緩之何也。則以中國人情。安於習故。而憚於求新。學士大吏。又以此爲耕氓野老之事。多鄙棄而不屑講求。抑知百穀萬物。精思其故。其微奧之處。直與化育相關。況萬民衣食之源。國家財賦之出。何在不與農政爲緣。所以大司農爲地官。位列六曹之次。而僅亞於天官。可知周官建邦設職之序。具有精義存乎其間後人不察。遂以至深至微之事。聽諸齊民。毫無董戒之意。歡相之法。以致土法相沿。農事窳敗。舉國家之要端。生民之命脈。安常蹈故。而不能改良。以圖進步。甚可惜也。昔神農嘗百草。而辨五穀。后稷教民稼穡。因以農事世其官斯二人者。皆上古首出庶物之神靈。超越凡衆之大聖。未聞以此爲細民之事。而鄙夷不爲。且以此著名萬世。俎豆無窮。凡在生民。罔不尊仰。至今食其德。飲其和。有血氣心知之人。莫不遐瞻遠矚。愛戴流連。以爲非二聖之力。吾儕小民。何以遂衣食之計。悉種植之方。而鑿井耕田。相忘於帝力之何有乎。溯自茹毛飲血。變而火化。由火化又變而烹飪飲食之道。逐漸求精。口腹之謀。日臻完備。方今大同世界。萬國交通。五洲互競。一切法制。愈進文明。各國於農。均爲注重如歐洲之俄德與美洲之末利堅。地據卜腴。號稱農國。其國皆於農事設有專官。以資督率。並有農事試驗場。以資研求。此外如農學堂之設。幾徧國中。列爲專科。視爲要政。又有農學會農學報等類。其農學專書。汗牛充棟。農學儀器。精益求精。以故人力之開啓發。達巧奪天工。自播種以至收穫。可計日而登場納稼矣。自發生以至蓄實。可計數而盈倉溢箱矣中國農業。故步自封。依然守舊。以地大物博。水土適宜。氣候溫和之域。天時地利。均占極點之優勢。而猶任其腐敗。聽民自爲。豈非坐失事機。自棄大利耶。今雖學堂林之農事已列專科。而中國疆域廣袤。人民蕃衆。通都大邑。尚未能普興農教。其邊僻之地。遠之鄉。陬澨之陬。更無由偏爲提倡。瀹民智而重民。生是宜廣行設學。採擇東西各國。農學專書之善本。多爲編譯。斟酌增補。俾期於中國民情相近。土宜相當。然德極力振興。著爲賞罰之令。有能鑽研解悟。獨有心得。別出新機者。立予獎飾。以旌其勞。久之使人人皆知國家盡力董勸。原以爲民。孰無身家之計。衣食之謀。萬民一心。經營於此。必有倍徙十百於今日者。且農事所包甚廣。所括至多。不僅耕雲犁雨。稼穡穮耡。爲農之事。即森林之利。養蠶飼畜製茶繅絲。以及養蜂養禽。皆爲農事。攷美國養蠶之利。不在五金各礦之下。獲益甚深。可見農學果精。不但米粟充盈。其他人力所施。地利所出。俱有取之不竭。用之不竭之勢。矧商之本在工。工之本在農。農產無多。雖有良工。無原料之足用。百貨何以製成。縱有富商。無萬類之取求。各處何以販運。灌淪之盈。涸合立待從可知農爲各業之本。所繫匪已匪輕。其實農爲萬民之本國家之本。所關更屬非鉅。安可不普興農學。急勸農業。以保自然之利。因邦本而阜民財乎。

中外要聞

●增兵剿建德匪徒　皖省建德縣有匪徒揭竿起事致生滋擾一節刻下尚未平靖勢益猖獗故中皖撫復增兵前往勦捕矣

●法艦抵皖　法國兵艦駛抵皖省刻正遊弋示威以防匪患

●奏改奉天官制　趙次帥前遞封奏條陳改革奉省官制之議茲據省來函其內容略云奉天將軍改爲行部大臣新置左右參贊以張觀察錫鑾張廉訪鶴齡充任以爲行部大臣佐治更置樞密局與行政部十局樞密局參預行部大臣之樞機而各行政局辦理地方政務並監督地方官聞其組織有大可觀云

並聞趙次帥初倹奉省開埠擬改交涉局爲商埠局以辦理各商埠交涉事宜更推廣交涉局事務改稱政務廳現已具摺入奏

●英議京津撤兵問題　叙聞西報云英國下議院議員巴爾麻君向英政府質問英國現擬在天津及北京是否減撤駐兵問題由政府當軸覆答列國現於北清是否撤退駐兵刻正在核奪但此事與北京使署護衞兵數毫不相涉

●請剿朝陽土匪　熱河朝陽屬蒙旗地方土匪滋擾向熬戀戶勒捐一事已誌前報茲聞現經廷都護改爲官辦按章納捐由官保護惟該土匪等勾結馬賊或串通無賴洋人亦同戀戶勒索故戀戶既困于官捐又困于匪捐均爲失業故該地紳士稟廷都護停罷官捐以蘇民困力陳土匪滋擾情形請派兵勦辦然熱河兵力不敷布置非有大幫匪徒不輕派兵往勦聞廷帥擬派員前往查辦再定辦法

●俄議員之請求　俄國議會於前禮拜六開會集議先由各議員關於生民苦楚情形熱心辯明由議院擬遞奏摺覆答上諭現選定委員定稿聞摺中有奏請頒佈大赦並廢止死刑之事云

●俄宣布新法律　俄國剌已宣佈新律即將該律爲萬法之根源一面以此確定君主之權力一面以此抵制議院之權利云

●壓制黨員罷議　俄國立憲自由黨員現已於禮拜二成刻在聖彼得府軍隊強集議該黨內之議員數名亦列席然由政府飭令開會有力壓制作罷

雜報

●怪胎並見　近聞廣西梧州城牛皮巷下街月初有兩宗怪胎出現一某宅某日產一女頭生出角約長一寸之間次日某家亦產一子惟一頭兩面眼目鼻口各二具但耳仍生兩隻一時梧人詫爲奇聞云

●車夫行刧　昨聞埠民傳曰本埠胡姓子與居民劉富之子同一呂姓子翩翩年少三人同行前宵往游妓館男女雜坐履舄交錯沉醉而歸時夜已深乃乘東洋車東往行經僻衆該車夫等垂涎三人衣裳炫爛弁掀踏於地盡爲刲褫馳車遁去頃來巡捕捉爲犯夜詳視悉繫印分送諸其家次日該少等尋覓車夫不得因向該妓館追究遂致決裂有二之龜奴助妓毆鬥致一頭顱擊破妓鳴狀於衙署並執到案傍夕全行釋出不識知何了結云

●覆舟遇救　昨午後有一上河小船順流東去至興順魁對後誤觸杉船毛纜之上將船翻倒船戶水手共六人順水飄沒開被大船撈救人均未傷云

●出金救急　聞市商傳說今年本埠銀錢奇緊輾轉較之往年大爲霄壤以故近日紛擁擠倒閉時聞並稱六月一日卯期更恐周轉滯礙大局將受其牽掣因之正金銀行擬借貸於本埠銀爐二十家各若干萬元以救時急誠如此則營口或有轉圜許不致一蹶難振也

●結黨騙笆　又云該城居民有韓姓者鄙卑譎詐莫可喻比有女亦冶容與莊溺交韓恃莊勢勾串匪棍編笆控詐財瓜分不一而足韓有知交某甲開設烟館因妻病故致大艱窘求韓周急韓曰爾盍效編笆乎甲日編笆謂何韓教以窺視鄉人某某殷實設法牽賴控訛詐其財有我向莊君先容何患事不諧乎甲歸而立視門前曾見同里李二先生家稱小有捉襟力遂於內茗談之際遂出女飾一匣言將膠續云云詎李辭去次日甲佯飾匣丟失謬說李爲竊去向李決裂即控狀控於司衙案下莊乃拘李到案強要李賠甲銀洋百元李日孰肯用若錢購賊名乎莊曰然則甲業控爾其肯白休乎茲爾且看吾面權周急甲五十元不然吾決押爾一切索費五十元能足乎李被脅無奈曲從之或日聞該城廳尊何公亦頗清廉仁惠胡爲任其屬員若斯乎蓋莊有根柢耶可爲一歎云云

叢談

●牙刷利弊　美國報章載美國牙刷病鑲齡者不一而足在希客果及聖方濟各城有一大公司爲鑲牙之用因多牙病之故據云由於美人所用之牙刷其毛太硬骨餘被其搖動微虫鑽入穴中種種作祟於是爭就牙刷師鑲牙幾有應給不暇之勢各報於是聳恿美政府禁用牙刷改用棉絮擦牙棉先以藥水浸過殺盡其中微虫庶不致堅與堅磨舌柔得存而齒剛易壞然瑞士營中近以衞生之故國家方籌欵購給以充軍人漱刷之便不知誰是誰非也

●去油汚法　紙上或綢布上染有油汚可先用熨斗熨過乘熱塗吐尼奔太熱精後塗極品火酒則光淨如前

NEWCHWANG, TUESDAY, MAY 22, 1906.

By the latest telegram from Tokyo, we are advised of the formal appointment of Viscount Hayashi to Foreign Minister.

Mr. A. Segawa accompanied by Mr. Takahashi, the new Vice-Consul, paid an official call on Capt. Hakui on board the Japanese gunboat "Akagi" last Sunday morning, and was greeted with a gun salute (7 shots), which token of honour is due to the Japanese Consul of the port in which a Japanese warship is at anchor.

Lt.-Col. Yokura also visited the gunboat during the morning.

The "Akagi" weighed anchor early yesterday afternoon for Port Arthur to join in a general celebration of the 1st anniversary of the great naval engagement on the 27th inst.

Mr. Shih Nien Tsu (史念祖), President of the Board of Revenue, Mukden, came down from the north last Sunday and has taken this morning's train for Tien Chwang Tai to make an inspection of the Salt Monopoly Office there.

We are informed that Mr. H. A. Bush who is now in Peking will return within a week.

Mr. A. Claude Pelly and Mr. Gilbert A. Barclay who are both in the Trinity College, Cambridge, are here on a visit and are staying at the "Manchuria."

We learn that the two young student-travellers are relations of Mr. Carnegie, British Charge de Affaires at Peking.

A steam launch service was initiated yesterday by Mr. Ogura under the hong name of the Hsun Hang Kung Su (巡航公司). Mr. Ogura has started with one steam launch by the name of the "Paoting."

It leaves the Jen Yu Coal yard jetty (仁裕碼頭) near the West Customs at 6.30 and 10.30 a.m. and, in the afternoon at 1.20, 4.30, and 5.40. It departs from the Yingkow Station jetty at 7.20 a.m. and 5.20 p.m.; from Customs jetty at 8.00, 9.30, and 11 a.m., and at 12.50, 2.00, 3.40, 6.20 and 7.40 p.m.; and from Niuchiatun at 8.40 and noon a.m. and 2.40 and 7 p.m.

The rates are 10 sen between Yingkow Station and the West Customs; 20 sen from either of the two points to the East Customs, and 30 sen to Niuchiatun. 20 sen is charged between the East Customs and Niuchiatun.

Only merchandise and heavy pieces of luggage will be charged extra.

The Japanese Fire Brigade of the port has rented from the Administration a shed within the Police Count compound where the fire-extinguishing equipments are stored, in order to keep there 10 men on watch every night against an alarm.

The shock produced by the explosives used on the wreck of the "Yatsunamaru" has been with good reason a source of some uneasiness to the residents along the shore front, who remember the simultaneous collepse of two roofs in their midst from the effect of a Russian gun salute some years ago.

It has been found on inquiry however that the bulk of dynamite employed in a charge is little than half a pound at a time, and this even, in view of the unpleasant shock being experienced ashore may be we understand rendered still less in quantity.

A Lady-Student of 57 years (the "Yorozu" May 9th).

An old Japanese lady was seen daily goiug to the Girls' Technical School in Hongo, Tokyo. At first, she was taken for a teacher and excited little interest, but when it was soon whispered round that she was only a student, curiosity has probed into her antecedents and present aim which are now public property of the neighbourhood.

She is Mrs. Choko Mayeda by name 57 years of age, born of a samurai family, not far from the Ise Grand Shrine. She married a petty samurai who died 30 years ago, a few years after the feudal system was abolished. She opened a sewing school to gain a livelihood, and now has 60 girls under her tuition. However, with the rapid advance of times, a thirst for learning cooking, the art of making artificial flowers, the use of the sewing machine, and such like had grown too keen in the young minds eveu at so out-of-the-way a county town where her home is that Mrs. Mayeda confided her new resolve of learning those arts herself to the wife of a local official, who, deeply interested in the rare enthusiasm of the old lady, has undertaken to look after her school during her absence.

She reached Tokyo on the 1st inst. and entered school at once later removing into the dormitory.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主 中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好

旅館 料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）　店主 片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主 前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百平九号　店主 和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

旅館 料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎

料理 旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科　さるそば 第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理並ニ温泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主 堀万助

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　住松信大益

料理　都樓　平野町　店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館　天神樓　温泉付大勉强キレーダフインと　奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主 入江熊男（電話　號）

旅館 料理店　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ヶ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主 壮井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉雞肉すき燒　日章館　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天大西關　奉天十間房　館主 原田新吉（電話　号）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科 營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業　日營ホテル支店　主任 林德松

御料理會席　菊水館　主任 朝枝園提

旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任 西野治三郎

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号　上松榮治郎

古料理　滿月　平野町（電一六二）　滿月支店　平野町入口　店主 青木勝惠

天然清水氷發賣廣告　奉天倉庫／儲　毎倉庫約二十五万斤　特約一万斤以上　右發賣仕候間至急申込相成度候　奉天小西門外內　大仁洋行

一和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續ゝ御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理　扶桑館　奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号　館主 堀田ハル　電話　号

和洋會席御料理　一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候　營口永世街二本町　日本館（電話百三十七）　各位樣

DIVING
INOUYE & CO.
Engaging to the work on the wreck of the "Yatsunamaru."
No. 166 Yuwansinmiao, Yingkow.

井上組潜水部　現今八綱丸引揚作業中　傍ら一般潜水作業の需に應す　元神廟前一六六號

長曾龜之進　岩尾伊助
右之者同業組合員に對し物品代金不拂に付組合規約に依り爾後組合員中は該人と取引を適絕す
明治三十九年五月　營口材木商組合

質屋營業　精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候　營口永世街南裏第三十六號　北斗洋行質屋部

清國の情况を知るは現下の急務なり清國の情况を知らんと欲せば先づ組織の異相を知らざる可らず老帝國政府の異相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

支那叢書第壹編　支那政府組織　全　定價一圓

軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ

販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

高國各等雜貨　電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街　川友洋行雜貨部

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト
スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
招牌 存案
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●紫外醫藥應用所有一切貨應俱全
（電話百九十番）
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤
耑此佈告

爲替相場（五月二十一日）
日本向　百〇二圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩四分ノ一（同）
天津向　一百〇三圓八
芝罘向　一百〇〇三圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表
紙類　加藤洋行
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　全　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）六十錢

一狀袋　全　二十枚綴　三錢二厘以上四錢　百枚　十三錢以上十八錢
室內装品飾及寢具　矢野洋行
一滑圃　三枚組　六圓九十錢以上六十圓
一座ブトン　十帖　八圓五十錢以上三十五圓

一疊表　二圓六十錢以上三圓
一薄様　十枚　八圓
一麻緞通　一疊敷　三圓
一綿緞通　全　三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy　80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　九弗六十仙